

# ポーランドの春～ バイソンの森・コウノリの村・クロッカスの谷

ご旅行期間とご旅行代金 [旅行代金には燃油サーチャージが含まれております]  
2023年 4月13日(木)発～4月24日(月)着 ￥667,000 お一人部屋利用追加料金 ￥69,000

ツアーのポイント [一番のポイントはポーランドは世界有数の親日国です！]

- ◆【お食事について】アスパラガス、ポルチーニ茸、マッシュルームなど季節の野菜やバルト海のシーフードをはじめ、ポーランドのライ麦スープ**ジュレック**、きのこのスープ**ズッパ・グジボヴァ**、ポーランドのロールキャベツ**ゴウオンブカ**、大麦のチキンスープ**クルブニック**など、ポーランド料理は日本の皆さんの口に合うと評判です。もちもちしたポーランドの餃子**ピエロギ(ピレルク)**は地域性が非常に強く、スープに入った**ピエロギ**、ポテトとチーズの**ピエロギ・ルスキュ**、肉入りの**ピエロギ**、野菜入りの**ピエロギ**など様々な種類でお楽しみいただけます。ユダヤ人地区の**ユダヤ料理**やタタール人の村での**タタール料理**もご用意しました。過去、量が多いとお声がかったため、基本的に昼食・夕食は3コースの設定です。具沢山のスープ+主菜+デザートとお考えください。時間がかかるため、コーヒー、紅茶はご用意しておりません。
- ◆【ヨーロッパで最も眺めの良い筏下りルート】ドゥナイエツ川渓谷で昔ながらの木製の筏での**川下り**を楽しみます。
- ◆【「ポーレチク」や「森へ行きましょう、娘さん」など日本人にもなじみの深い歌やダンスをクラコフ民俗アンサンブルのパフォーマンスでお楽しみください。
- ◆バルト海に横たわる**全長35kmの砂州・ヘル半島**を観光します。 ◆ワルシャワ、グダニスク、クラコフ～**美しい中世都市 3都市に連泊**です。
- ◆「ピアノの詩人」シヨパンの国で**シヨパン・ピアノ・ミニコンサート**を鑑賞します。
- ◆『負の世界遺産』アウシュヴィッツ強制収容所をはじめ、**コルベ神父ゆかりのニエボカラノフ**、ワルシャワ蜂起の記念碑、**ヴォルフスジャンツェ(狼のネグラ)**、「連帯」発祥の地、「シンドラーのリスト」の舞台・カジミェシュなど **20世紀の歴史の舞台**もご案内します。
- ◆氷河期の置き土産である**数千個もの沼や湖がクレーター状に点在**し、その多くが水路や川で数珠のようにつながっている**マズーリ湖水地方**に**宿泊**します。絵のような湖畔で牧歌的な田園地方の景色をお楽しみください。
- ◆チャルトリスキ美術館にて、**レオナルド・ダ・ヴィンチ**の傑作『**白貂を抱く貴婦人**』を鑑賞します。
- ◆ヨーロッパ・バイソンが棲む『**ヨーロッパに残された最後の原生林**』**ピャウオヴィエジャの森**を観光します。
- ◆**繊細で紫色のクロッカスの花がタトラ山脈の谷中を埋め尽くす**ホホウォフスカ谷にて、**ハイキングで幻想的な景色**をご観いただけます。



クラコフ旧市街

## ピエブジャ国立公園の「コウノリの村」

ヨーロッパに春を告げる鳥・コウノリは、アフリカで越冬し、春が来る3月末から4月の初めにヨーロッパに戻ってきます。繁殖地は主にヨーロッパと中央アジアで、特に**ポーランドは他を圧倒する世界最大の繁殖地**です。2004年の調査で確認された**全世界約23万ペアのうち約4分の1**に当たる52,500ペア[105,000羽]がポーランド国内で営巣・繁殖しました。

そのコウノリ王国ポーランドの中でも、特にコウノリを数多く見られる場所が、北東部の**ピエブジャ大湿原**と**マズーリ湖水地方**です。夏のこの地域の田舎では、木々も家々の煙突も電柱も、あらゆる高い場所がコウノリの巣だらけになります。越冬のために夏の終わりの8月頃アフリカへ移動するまでの1シーズンに1羽のコウノリが食べるエサの総量は250kgにも及びます。豊富な魚やカエルを求めてコウノリたちは水の豊かなこの地に集まるのです。特に、春に洪水を起こすピエブジャ川流域はコウノリたちにとっての楽園になっています。

この旅では、『**コウノリの村**』に選出されたピエブジャ国立公園の**ペントヴォ村**を訪問し、コウノリを観察します。

ピエブジャ川流域には、水鳥、猛禽類、ヘラジカ、ビーバーなど多彩な動物たちが暮らしています。



クラコフ民俗アンサンブル



ホホウォフスカ谷

- ### ご利用予定ホテル
- ワルシャワ[2泊]:メルキュール・チェントルム、またはソビエスキ・ラディソンプルー★★★★[バスタブ付き]
  - ピャウオヴィエジャ国立公園[1泊]:ホテル・ピャウオヴィエスキ・カンファレンス・ウェルネス&スパ★★★★[シャワーのみ]
  - ピャウイストク[1泊]:メルキュール・ピャウイストク★★★★[シャワーのみ]
  - マズーリ湖水地方・ミコワイキ[1泊]:ミコワイキ・レジャー&スパ・ホテル★★★★[バスタブ付き]
  - グダニスク[2泊]:ハンザホテル★★★★[バスタブ付き/旧市街]
  - クラコフ[3泊]:ホテル・クパス、ホテル・ギャラクシー、またはラディソンプルー★★★★[バスタブ付き]

- ### ご旅行条件
- 募集人数/16名様定員 ■最少催行人数/8名様
  - 全食事付/朝食10回[ビュッフェ]・昼食9回・夕食10回
  - 旅券必要残存期間/ポーランド入国時6ヶ月以上
  - 成田及び千歳空港利用料/¥4,300(別途必要)
  - 国際観光旅客税/¥1,000(別途必要)
  - 海外空港税・出国税/旅行代金に含まれております。
  - 添乗員(千歳空港より)/全行程、社員添乗員同行
  - トランク往復無料託送サービス[ご自宅～空港～ご自宅]
  - ※ビジネスクラス利用追加料金はお問合せ下さい。
  - ※成田発着:¥10,000引き



ピャウオヴィエジャの森



聖マリア教会[クラコフ]

1	千歳 → 成田 → ワルシャワ(市内観光) [スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港] ■朝、千歳空港より全日空国内線にて、成田へ[07:40発]。 ■午前、成田空港よりポーランド航空または欧州都市を經由し、首都ワルシャワへ[10:15発/14:30着]。 ■着後、簡単なワルシャワ市内観光です。「シヨパンの心臓」が設置されている <b>聖十字架教会</b> や社会主義時代の高層スターリン建築・ <b>文化科学宮殿</b> [237m]へご案内します。◀ <b>音楽の街ワルシャワに連泊</b> ▶です。 [X]・[X]・[X][ワルシャワ泊]
2	<b>ワルシャワ(市内観光)</b> (ジェラゾバポーラ)(ニエボカラノフ) ■午前、ワルシャワ市内観光。復元された <b>世界遺産ワルシャワ旧市街</b> を聖ヤン大聖堂から、色鮮やかな旧市場広場、 <b>城門バルバカン</b> へと巡ります。 <b>1944 ワルシャワ蜂起の記念碑</b> も見学いたします。また、緑美しいワルシャワのシンボル・ <b>ワジェンキ公園</b> を訪れ、 <b>シヨパンの像</b> 、 <b>ワジェンキ宮殿</b> [外観]、ヤン・ソビエスキの像へと散策いたします。 ■午後、 <b>ジェラゾバポーラ村</b> にて、 <b>シヨパンの生家</b> と曲想を練ったその庭を訪ねます。 ■途中、 <b>コルベ神父ゆかりのニエボカラノフ</b> に立寄りします。 ■夕刻、 <b>シヨパン・ピアノ・ミニコンサート</b> をお楽しみください。旧市街のレストランにて夕食です。 [O]・[O]・[O][ワルシャワ泊]
3	<b>ワルシャワ → 東方正教の村 → ピャウオヴィエジャの森</b> ■午前、ヨーロッパ・バイソン(ジュブル)が棲む『 <b>ヨーロッパに残された最後の原生林</b> 』 <b>世界遺産ピャウオヴィエジャの森</b> へ。途中、ポーランド最大の東方正教会建築「 <b>聖三位一体教会</b> 」のある <b>ハイノフカ村</b> に立寄りします。 ■午後、 <b>ヨーロッパ最後の秘境ピャウオヴィエジャ国立公園</b> を観光します。ヨーロッパ・バイソンの観察センターなどにご案内します。 [O]・[O]・[O][ピャウオヴィエジャ国立公園泊]
4	<b>ピャウオヴィエジャの森 → タタール人の村 → ポドラシエ地方・ピャウイストク(市内観光)</b> ■午前、『 <b>ポーランド国境の宝物</b> 』と呼ばれるポドラシエ地方へ。 <b>ポドラシエ地方</b> は切妻屋根とカラフルな両開き窓で知られ、ポドラシエ方言を話す先住民が暮らしています。 ■古いモスクの残る <b>タタール人のクルシヤニ村</b> を訪れます。昼食は、タタール人の伝統料理をお召し上がりください。 ■午後、北東ポーランドの中心地 <b>ピャウイストク</b> へ。「ポドラシエのヴェルサイユ」と呼ばれる <b>パルナツキ宮殿</b> 、 <b>オールドマーケット</b> などを観光します。 [O]・[O]・[O][ピャウイストク泊]
5	<b>ピャウイストク → ピエブジャ大湿原(コウノリの村) → ユダヤ人の村 → マズーリ湖水地方</b> ■午前、ピエブジャ川沿いに広がる <b>ピエブジャ大湿原</b> へ。欧州で『 <b>コウノリの村</b> 』に選出された <b>ペントヴォ村</b> を訪問し、コウノリを観察します。 ■途中、ポーランド最大のユダヤ人の共同体がある <b>ティコチン村</b> のシナゴークに立寄りします。 ■午後、『 <b>千湖の楽園</b> 』と呼ばれる <b>マズーリ湖水地方</b> へ[ユネスコ・エコパーク]。2600以上の湖沼と運河の牧歌的な田園地方を巡ります。夕刻、湖水を繋ぐ水路の街 <b>ミコワイキ</b> へ。 [O]・[O]・[O][マズーリ湖水地方/ミコワイキ泊]
6	<b>マズーリ湖水地方 → ヴォルフスジャンツェ → マルボルク城 → グダニスク</b> ■朝、自由の広場などミコワイキの散策をお楽しみください。 ■午前、ケントシン[旧ラステンブルク]郊外の <b>ヴォルフスジャンツェ(狼のネグラ)</b> へ。ヒトラーがソ連攻撃を指揮し、「ワルキューレ作戦」で暗殺されかけた要塞をご案内します。 ■午後、 <b>中世ドイツ東方騎士団領の都マルボルク[マリエンブルク]</b> へ。美しい赤レンガ造りで中世ヨーロッパ最大の <b>世界遺産マルボルク城</b> を見学いたします。「琥珀の歴史」展示館もご覧いただけます(逆光にならない午後での訪問です)。 ■夕刻、西プロイセンの都「 <b>旧ダンツィヒ</b> 」 <b>グダニスク</b> へ。◀ <b>ハンザ同盟都市グダニスク旧市街に連泊</b> ▶です。 [O]・[O]・[O][グダニスク泊]
7	<b>グダニスク(市内観光)(ヘル半島)</b> ■午前、「反骨の港町」グダニスクのシンボル、 <b>東欧民主化の道を切り開いた「連帯」発祥の地モニュメント</b> に立寄り、美しい港町 <b>グダニスク旧市街</b> [世界文化遺産暫定リスト]を観光します。 <b>モトワヴァ運河の倉庫群</b> と街のシンボル・ <b>木造クレーン</b> 、ヨーロッパで最も美しい旧市場広場 <b>ドゥーギ通り</b> 、アルトゥスコート(旧ユンカーホフ)、黄金の門、オシャレなお店が並ぶ <b>ネオゴシック様式</b> のマリアツカ通り、ヨーロッパ最大のレンガ造りの教会・ <b>聖母マリアツカ・バジリカ</b> などを散策します。 ■昼食は、バルト海のシーフードをお召し上がりください。 ■午後、バルト海に横たわる <b>全長35kmの砂州・ヘル半島</b> へ。白砂のヴィストゥラ砂嘴や伝統的な漁師の家などをご案内いただけます。途中、居心地の良いバーでバルト海の少数民族カシューブ人の料理を試食します。 ■夕食は <b>ライトアップされた旧市街のレストラン</b> にて。 [O]・[O]・[O][グダニスク泊]
8	<b>グダニスク → クラコク(カルヴァリア巡礼公園)(アウシュヴィッツ)</b> [クレズマー] ■朝、航空機にて、ヨーロッパを代表する古都 <b>クラコク</b> へ。 ■着後、 <b>世界遺産カルヴァリア・ゼブジツカ</b> の <b>景観複合体</b> と <b>巡礼公園</b> の見学です。バスキディ山脈を背景にした、「ポーランド十字架の道」の美しい宗教建築群をご観覧いただけます。 ■午後、『負の世界遺産』 <b>アウシュヴィッツ強制収容所</b> 及び <b>ビルケナウ収容所</b> を見学いたします。「アルバイト マハト フライ」の門や <b>コルベ神父の牢獄</b> など丁寧にご案内します。 ■夕食は、映画「シンドラーのリスト」の舞台の <b>ユダヤ人街・カジミェシュ</b> にて。ユダヤ料理を「 <b>クレズマー(ユダヤ音楽)</b> 」とともに楽しみください。◀ <b>中世ポーランド王国の都クラコフ 3連泊</b> ▶です。 [O]・[O]・[O][クラコフ泊]
9	<b>クラコフ(ドゥナイエツ川渓谷[筏下り])(タトラ国立公園[クロッカスの谷])</b> ■早朝、ピエニヌイ山脈スロモビエツキ湖畔の村 <b>スロモフツェ・ピジネ</b> へ。着後、 <b>世界遺産暫定リストピエニヌイ国立公園</b> の <b>ドゥナイエツ川渓谷</b> を200年続く昔ながらの <b>木製の筏での川下り</b> を楽しみます。スロヴァキアとの国境を流れ、「 <b>ヨーロッパで最も眺めの良い筏下りルート</b> 」とされています。■昼食は、タトラ山脈の玄関口 <b>ザコパネ</b> にて。 ■午後、 <b>タトラ国立公園</b> [ユネスコ・エコパーク]のドリナ・ホホウォフスカ谷へ。4月には、タトラ山脈の <b>ホホウォフスカ谷</b> には <b>無数のクロッカスが咲いています</b> 。繊細で紫色の花が谷中を埋め尽くし、 <b>幻想的な景色</b> です[2時間半のハイキングを予定していますが、ご参加者の体力に応じて対応いたします]。 [O]・[O]・[O][クラコフ泊]
10	<b>クラコフ(市内観光)(ヴェリエリチカ岩塩坑)</b> [ポーランド民俗舞踊] ■午前、『 <b>世界遺産第一号</b> 』 <b>クラコフ旧市街</b> の観光です。中世の城壁 <b>バルバカン</b> 、芸術家が集まる <b>フロリアンスカ門</b> 、ヨーロッパ最大の広場 <b>リネク・グウヴヌィ</b> (中央市場広場)、レトロな雰囲気のお店が並ぶ <b>織物会館</b> 、「 <b>ラツパの時報</b> 」が悲しげなポーランドゴシックの代表・ <b>聖マリア教会</b> には <b>見事な聖壇</b> があり <b>国宝</b> に指定されています。 ■ポーランド最古の美術館・ <b>チャルトリスキ美術館</b> にて、 <b>ダ・ヴィンチ</b> の傑作『 <b>白貂を抱く貴婦人</b> 』も観賞いたします。 ■ <b>ヴァヴェル城の丘</b> にて、歴代国王の戴冠式が行われ、ポーランド史における英雄的人物が埋葬されている <b>ヴァヴェル大聖堂</b> や、 <b>大聖堂宝物館</b> を観光します。 ■午後、『 <b>世界遺産第一号</b> 』 <b>ヴェリエリチカ岩塩坑</b> の見学です。美しすぎる塩の地下宮殿で、岩塩のチャペルや塩のシャンデリアなどソルトアートを観賞します。 ■夕食時には、「 <b>クラコフ民俗アンサンブル</b> 」によるポルカなど <b>ポーランドの民謡</b> やポロネーズなど <b>ポーランドの伝統的なダンス</b> をご観覧いただけます。 [O]・[O]・[O][クラコフ泊]
11	<b>クラコフ → ワルシャワ →</b> ■昼、航空機にて、ワルシャワへ[12:00 発]。 ■午後、ポーランド航空または欧州都市を經由し、帰国の途へ[15:10 発]。 [X]・[X]・[X][機中泊]
12	<b>→ 成田 → 千歳</b> [スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港] ■午前、成田空港到着[08:35 着]。 ■入国後、全日空国内線にて千歳へ[10:30発/12:15着]。千歳空港到着後、解散。 [X]・[X]・[X]

※表記の時間は、すべて現地時間で表示されております。  
 ※表記の「O」はお食事の有無を示します。「+」は機内食、「×」の食事は含まれておりません。  
 ※現地の都合によりスケジュールが変更される場合があります。その場合でも極力日程に従って旅行サービスが受けられるよう万全の手配努力を致します。